

に於ける彈壓、は論干渉、大阪に於ける新聞記者檢束と知事警察部長の公式陳謝、東京に於ける新聞記者處置に對する安達内相の陳謝等々。然し我々は政府のかゝる暴壓を以て民政黨内閣の公約無視とか聲明裏切りとかの視角から曝露するのは不十分である。

1、ブルジョア民主主義の確立なしに帝國主義段階に入れる我資本主義の前提としての政府は如何なる内閣にとつても暴壓が本然の姿であること

2、特に民政黨内閣は恐慌の全權性を大衆に轉嫁せんが爲めに政治と經濟の全領域に亘つて合理化政策を強行しそれは必然に大衆の反抗を喚び起しかくして暴壓政策が合理化政策の前提手段となること。

(ロ)資本家の産業合理化

(ハ)失業と失業對策の欺瞞：政府發表によれば昭和六年六月現在失業者總數四十萬一千である。然し實數は二百萬を突破してゐるであらう。これに對する政府の昭和六年年度の失業救濟事業を見るに、國營失業救濟事業による失業者收容額定數四萬人、地方事業による收容者四萬計八萬人を出ないのである。單なる欺瞞に外ならぬ。

(ニ)農村窮乏と低利融通政策の欺瞞

昭和五年度に於ける農業恐慌の激化は農村飢饉を呼び起した。農産物價格の下落は割價四八%、野菜五二%、果實%、米價四五%、かくて全國農民の養蠶收入減三億七千萬圓、米作收入減一億七千萬圓、野菜收入減三億圓、計八億圓の收入減である。これに對して民政黨内閣は昭和五年春には製糸資本家並に銀行資本家に三千萬圓の繰價補償、秋には地主の爲めに外米關稅引止と二百萬石買上を行つたけれども、農村に對しては農漁山村失業救濟資金低利融通七千萬圓の懸聲をかけたのみである。何故に懸念であるか？即ち融通を得る爲めには信用能力を必要とするため、何等の資産なき農民は一文も借り得なかつたのである。

昭和六年の春農産下落を中心とする農村窮乏に對して再び政府は四千五百萬圓の低融を發表して欺瞞を繰り返さんとした。本年度の低融は市町村を通じ多くの地方に於て蠶桑改値資金の名義で養蠶生産制限を目的として、桑抜一反七十圓宛貸し附けてゐる。而して、貸附名義は個人に對してなされてゐるが、税金完納を借入資格とする爲めに多くは滞納税金に繰入れられて、農民の手には一文も入らない。これ農民救濟を名とする政府の赤字補填策なりと斷せざるを得ず。

(ホ)海軍と輸送に減稅案の欺瞞

海軍補充費	三億五千萬圓	五・五%
減稅充當額	一億	一・五%
計	四億五千萬圓	七・〇%

減稅充當額の配分

地租	三〇,〇〇〇,〇〇〇圓	四〇・〇%
營業收益稅	一五,〇〇〇,〇〇〇圓	一七・五%
砂糖消費稅	一〇,〇〇〇,〇〇〇圓	一三・〇%
織物	一〇,〇〇〇,〇〇〇圓	一三・〇%
計	六五,〇〇〇,〇〇〇圓	一〇〇・〇%
有産者稅減額(地租營業稅)	八〇,〇〇〇,〇〇〇圓	三三・五%
無産者稅減額(砂糖織物)	一五,〇〇〇,〇〇〇圓	三三・五%
計	九五,〇〇〇,〇〇〇圓	一〇〇・〇%

此の無産者稅減額も大衆減稅の名にかくれたる資本家減稅である。何故ならば織物砂糖はカルテルの生産制限によつて減稅は何等價格引下げを導き得ないからである。

(一)資本家的政治合理化として三制改革の暴落(特に陸軍縮小給制、三制改革等)

所謂三制改革の内容を見んに單に受給年限の延長に止ま

る事、農民が老弱空しく遺棄されつゝある現状は、社會的背理の甚だしきものである。我黨はかかる官僚軍閥の温床なる恩給法を即時廢止し、これに代へるに官吏のみならず労働者農民等一般大衆を包括する全人民養老年金制の制定を要求する。同制は六十歳以上の男女に直前引續き二十年間内體若くは精神の働勞によつて、生計を立てたるを條件として、公定生活費を支給し、財産所得者及び公定生活費以上の所得者を除外するを原則とする。

政府の所謂『學生大改革』を檢するに、第一に資本主義の發展期に官吏、技術家、教員等の大量生産の爲めに擴大せる高等教育機關を資本主義の没落期に照應した知識階級の生産制限を目的とした高等教育機關の縮小、第二に青年訓練所を教育組織に編入することによつて學校の兵營化及び教育の軍國主義化、第三に改革を欺瞞の爲めの單なる學校稱呼の改革を中心とするものである。吾が黨はかかる資本主義的育の合理化に反對する。苟も社會の進歩と大衆の福利増進を目標とする限り學制の改革は當然に義務教育制度の擴大と向上を眼目